



TM

# wondershare

## Dr.Fone for Android (Mac 版) ガイド

ご登録に関する注意事項：

登録メールのメールアドレスや登録コードなどの情報をコピー&ペーストする際には、スペースがないことをご確認お願いいたします。

ほかご登録時に何かご問題がありましたら、弊社サポートセンター  
<http://www.wondershare.jp/ask-a-question.html>  
までご連絡をお願いいたします。

### はじめに

Step1. Mac にお持ちのデバイスを接続します。

Step2. USB デバッグを有効にします。

Step3. お持ちのデバイスにあるデータを分析します。

Step4. デバイスにあるデータをスキャン

Step5. プレビューそして復元

### はじめに

お持ちの Samsung 携帯電話にあるメッセージや連絡先が間違っ削除された場合、あるいは Android デバイスの SD カードにある写真が消された場合、「Wondershare Dr.Fone for Android」(Mac 版)にお任せください。

シンプルなデザインですが、復元機能は強力です。メッセージ、連絡先、写真や動画など、多様なファイル形式に復元対応です。

復元作業は、「スキャン → プレビュー → 復元開始」という簡単な手順で完成できますので、誰でもデータの復元を使いこなせます。

まずは Wondershare Dr.Fone for Android (Mac 版) をインストールして、実行してください。

注意：復元されたデータは PC への保存のみが可能となりますが、連絡先や SMS などのデータをデバイスにインポートするには、「TunesGo (Mac 版)」をご利用ください。

[先頭へ](#)

## 1-1 Mac にお持ちのデバイスを接続します

「Wondershare Dr.Fone for Android」をインストール後、USB ケーブルでお持ちの Android デバイスを Mac に接続します。





注意：一度に一台の携帯電話を接続した方がいいです。そして、お持ちの機種が復元対応可能なことをご確認をお願いします。

[先頭へ](#)

## 1-2 USB デバッグを有効にします

接続完了後、デバイス上の USB デバッグを可能にする必要があります。  
画面内の詳細説明に従って、設定します。

1) Android 2.3 またはそれ以前のバージョン：「設定」に進む → 「アプリケーション」をクリック → 「開発」をクリック → 「USB デバッグ」を選択してチェックを入れる

wondershare Dr.Fone

以下の手順で「USBデバッグ」を有効化してください。

Android 2.3 またはそれ以前    Android 3.0-4.1    Android 4.2 またはそれ以降

1. 「設定」を開く
2. 「アプリケーション」
3. 「開発」
4. 「USBデバッグ」

The screenshot shows the 'Development' settings page on an Android device. The 'USB debugging' option is checked, and the 'Allow mock locations' option is also visible below it.

2) Android 3.0 から 4.1 まで: 「設定」に進む → 「開発者向けオプション」をクリック → 「USB デバッグ」を選択してチェックを入れる

wondershare Dr.Fone

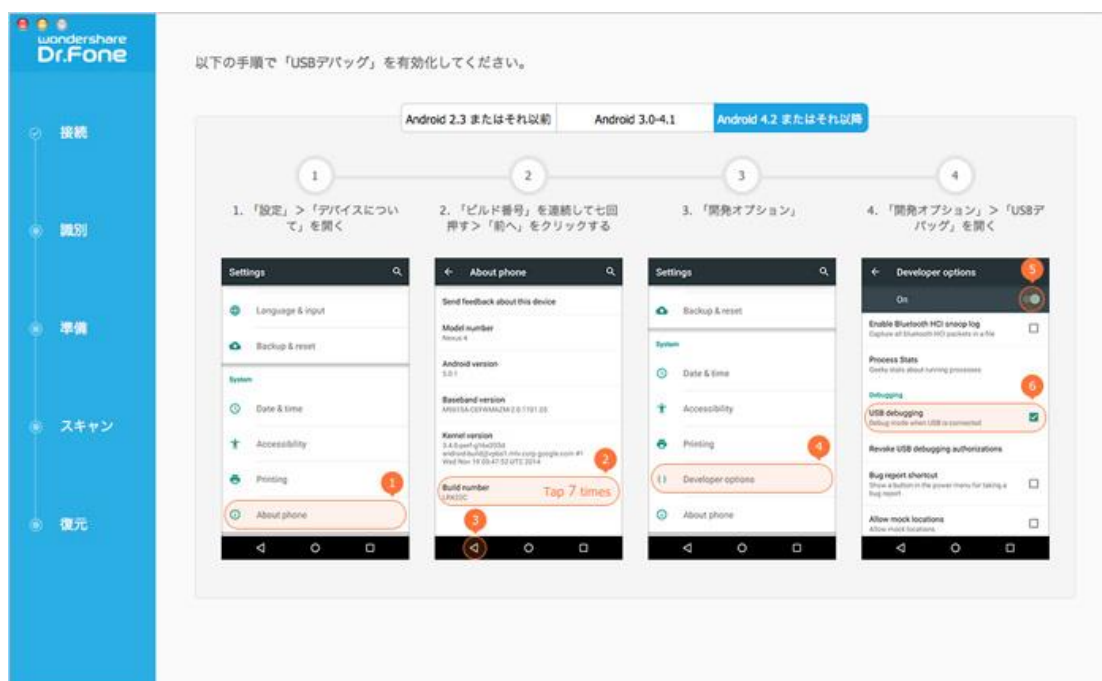
以下の手順で「USBデバッグ」を有効化してください。

Android 2.3 またはそれ以前    Android 3.0-4.1    Android 4.2 またはそれ以降

1. 「設定」を開く
2. 「開発者オプション」
3. 「USBデバッグ」

The screenshot shows the 'Developer options' settings page on an Android device. The 'USB debugging' option is checked, and the 'Development device ID' and 'Allow mock locations' options are visible below it.

3) Android 4.2 またはそれ以降のバージョン：「設定」に進む → 「端末情報」をクリック → 「これでデベロッパーになりました」のメッセージが出るまで、「ビルド番号」を数回タップ → 「開発者向けオプション」をクリック → 「USB デバッグ」を選択してチェックを入れる



注意：前に USB デバッグを有効にした場合、この手順をスキップしてもよろしいです。

[先頭へ](#)

## 1-3 お持ちのデバイスにあるデータを分析します

USB デバッグを可能にしてから、プログラムはデバイスを PC に接続させます。ここで復元したいファイルの種類を選択します。



「次へ」をクリックして、次の画面で「開始」をクリックして、データのスキヤンを開始させます。



注意：作業を開始する前に、完全なスキャンが完成できるように、バッテリーの残量が20%以上あることをご確認ください。

[先頭へ](#)

## 1-4 デバイスにあるデータをスキャン

デバイスにあるデータをスキャンします。スキャンの途中、デバイスの接続を解除しないでください。解除すると、スキャンは失敗になります。



[先頭へ](#)

## 1-5 プレビューそして復元

スキャン完了後、スキャン結果一覧にデバイスにあるファイルの種類及びデバイスの情報が表示されます。

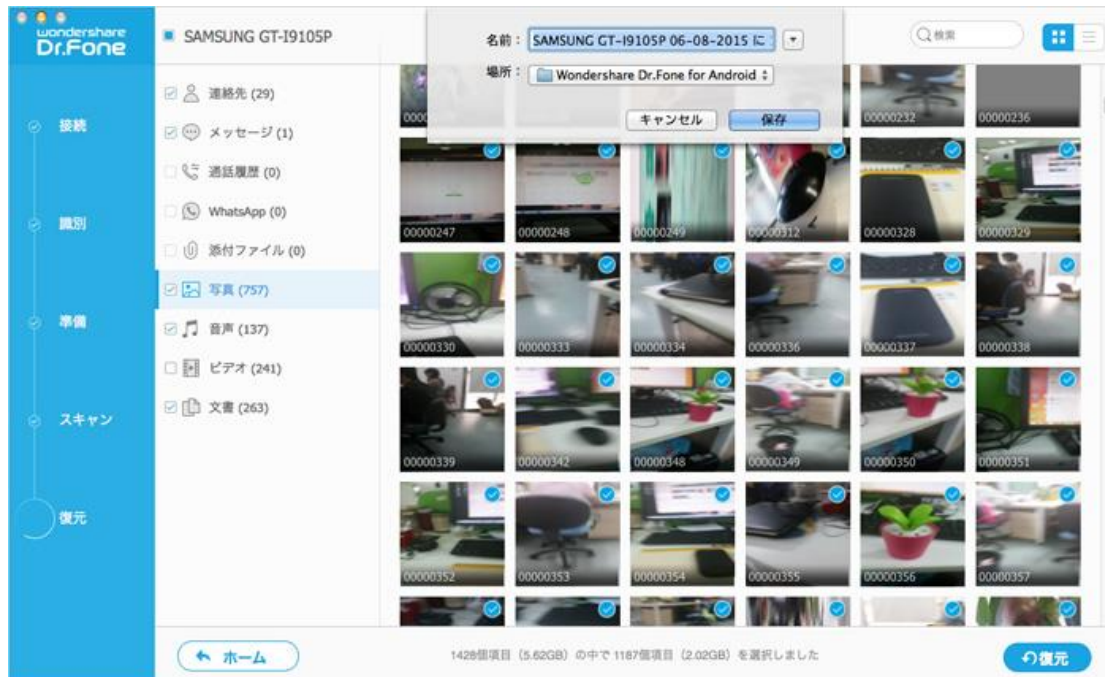


各ファイルの種類をクリックすると、その詳細は表示されます。  
既存のメッセージ（SMS）、連絡先、写真、動画もスキャン結果一覧に表示されますが、削除されたものは「赤」で表示されます。



プレビューした後、復元したいファイルを選択して、「復元」ボタンをクリックしてデータを Mac への保存を開始します。





注意：復元されたデータは Mac への保存のみが可能となりますが、連絡先や SMS などのデータをデバイスにインポートするには、[「TunesGo \(Mac 版\)」](#)をご利用ください。

[先頭へ](#)

ヘルプ更新：2015 年 6 月

©株式会社ワンダーシェアーソフトウェア